

親の老後を 考える [33]

新たなライフステージに備えて

「生活支援サポーター」が 支え合いの地域をつくる



箕面市生活支援サポーター養成研修の様子。カリキュラムは座学12時間+現場実習3時間(全3日)。市の補助で研修をおこなっている大阪府社会福祉事業団の米田信乃(こめだしの)さんは「介護の仕事の魅力を一人でも多くの方に伝えたい」と。写真提供:社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

一律の予防給付から
多様な総合事業へ

3年ごとに改正される介護保険制度。前回の2015年改正で大きく変わったのが、要支援1・2の人への対応だ。従来の介護保険の予防給付から、段階的に市区町村の「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」に移行することになったのだ。

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

高年齢福祉室・室長の長谷川さんは、箕面市生活支援サポーター養成研修の特徴をこう話す。

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

高年齢福祉室・室長の長谷川さんは、箕面市生活支援サポーター養成研修の特徴をこう話す。

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

最近、市の広報紙などで頻りに目に「生活支援サポーター」。自治体により名称や役割は多少異なるが、生活支援サポーターが、これからの「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」の大切な一翼を担うのは間違いないだろう。箕面市の取り組みを通して考えてみたい。

Interview

箕面市 健康福祉部 高年齢福祉室 室長 **長谷川 千波**さん(右)
(はせがわちなみ)
参事 **辻 紗織**さん(つじさおり)



「生活支援サポーター養成研修の一つのきっかけに、地域の助け合いや介護の仕事に関心を持って参加いただければ。」

取材協力
箕面市 健康福祉部 高年齢福祉室
☎072-727-9505

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れられるなど、生活支援の担い手を幅広く求める」

【取材を終えて】取材・文 渡部せつ子

箕面市生活支援サポーター養成研修がこの11月20日・22日・24日・27日(もしくは30日)の4日間の日程で実施されます(無料)。会場は箕面市の社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ研修・研究センター。申し込み・問い合わせは同センターへ(TEL.072-724-8167、FAX.072-724-8165)。11月15日締め切りです。あなたも、ぜひ!

親の老後を考える

こだわって選びたい
「安心できる有料老人ホーム」

「母は笑顔と元気を取り戻し、 家族は安堵しました」

一人暮らしが困難になった親の老後をどう支えるのか。同居か、施設か…と、子の悩みは尽きないものだ。今回は92歳の母Sさんの幸せを願い、逡巡の末に「グッドタイムリビング 千里ひなたが丘」(住宅型有料老人ホーム)に入居を決めた家族の思いとSさんの「いま」をレポートする。

一人暮らしの母が認知症に 親を思う娘家族の葛藤にスタッフは?

おしゃれで社交的だったSさんに異変が現れたのは数年前。認知症による物忘れや幻覚から、生活リズムが崩れ、引きこもり状態に。介護の認定を受け、Sさんの一人暮らしに

「グッドタイムリビング」はグッドタイムリビングで力を入れている取り組みの一つ。暮らしには「大人の賑わいが必須」との観点から、専用のGTCルームでストレッチや囲碁、コーラスなど多彩なプログラムを実施している。

「グッドタイムリビング」はグッドタイムリビングで力を入れている取り組みの一つ。暮らしには「大人の賑わいが必須」との観点から、専用のGTCルームでストレッチや囲碁、コーラスなど多彩なプログラムを実施している。



(上)スタッフがキビキビ働くオープンな雰囲気。娘さんが母親であるSさんの入居を決めた理由の一つ。
(右上)ゲストとコミュニケーションを取るスタッフ。



「訪問介護で入浴や買い物、清掃などの日常生活のサポートを行い、スタッフに」



一人用の居室は約20㎡。上質な家具、ベッド、クローゼット、洗面台などを設置。



窓を開けると、丘の上の立地ならではの美しい眺望が。

10/28(土)~11/26(日)

食事付き見学会(要予約)

実際に提供されている食事を体験できる。今年オープン4階フロアも内覧可。お申し込み・お問い合わせはオリックス・リビング カスタマーセンター

☎0120-135-166
受付/9時~18時(毎週水曜、元日を除く)



グッドタイムリビング
千里ひなたが丘
吹田市千里丘西15-20
☎0120-135-166
https://www.orixliving.jp/guesthouse/project23/



JR「千里丘」駅 阪急「山田」駅 シャトルバスあり
JR 京都線 JR京都線「千里丘」駅より吹田市コミュニティバス「千里ひなたが丘前」バス停下車徒歩約1分(約80m)。または「吹田徳洲会病院前」バス停下車徒歩約4分(約280m)。または徒歩約17分(約1.3km)

【概要】●類型/住宅型有料老人ホーム●居住の権利形態/利用権方式●利用料の支払い方式/一時金方式●入居時の要件/概ね65歳以上・入居時 自立・要支援・要介護●介護保険/在宅サービス利用可能●居室区分/全室個室(一部二部屋(ただし相部屋ではない))●土地・建物の権利形態/所有●事業主体/オリックス・リビング株式会社 〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル※当社は、オリックス株式会社の連結決算対象会社です。(広告有効期限/2017年11月30日)

こちらに伺いました/

オリックス ケアサービス 千里ひなたが丘 管理者
ケアアテンダントマネージャー **松川 康浩**さん

1986年大阪生まれ。社会福祉士養成専門学校を経て2007年入社。「当初は介護の仕事が自分に向いているのか分からなくなり自信を失うことも…。そんなときゲスト(入居者)の「あなたは大丈夫」という励ましの言葉に力をいただきました。ケアは自分を成長させてくれる素晴らしい仕事です」

